

調査結果について

- ▶ <調査概要>
- ▶ 1. 調査対象：小学校1年生から6年生
- ▶ 2. 調査方法：「キッズ goo」上での公開型インターネットアンケート
- ▶ 3. 調査期間：平成19年6月7日(木)～6月25日(月)
- ▶ 4. 有効回答者数：1,535名
- ▶ 5. 回答者の属性：
 - ▶ 【男女内訳】：男性 40.0% 女性 60.0%
 - ▶ 【年代別構成】：1年生：2.0%、2年生：4.8%、3年生：9.0%、4年生：19.7%、5年生：30.9%、6年生：33.6%

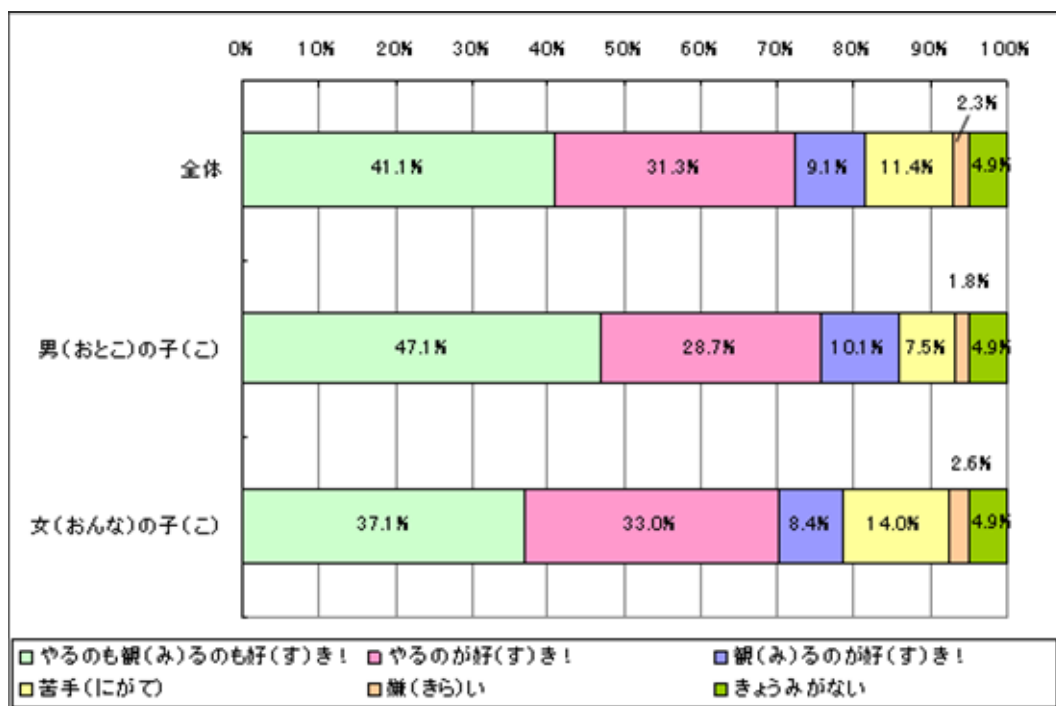
調査結果データ

1. 8割以上の子どもが、スポーツが好きで、観るよりやる方が好き。

スポーツを「やるのも観るのも好き」(41.1%)、「やるのが好き」(31.3%)、「観るのが好き」(9.1%)を合わせると約8割を占めており、子どもたちは概ねスポーツが好きであることがうかがえる。その一方、約2割の子どもがスポーツは苦手・嫌い・興味がないと答えており、男子に比べ女子の方がその割合が高かった。

また、スポーツが好きと答えた子どものうち、スポーツをやるのが好きと答えた子どもは72.4%（「やるのも観るのも好き」と「やるのが好き」の合計）に対し、スポーツを観るのが好きと答えた子どもは50.2%（「やるのも観るのも好き」と「観るのが好き」の合計）と、スポーツは観るより実際にやる方が好きな子どもたちが多いことがわかった。【図1】

【図1】スポーツは好き？（N=1,535）

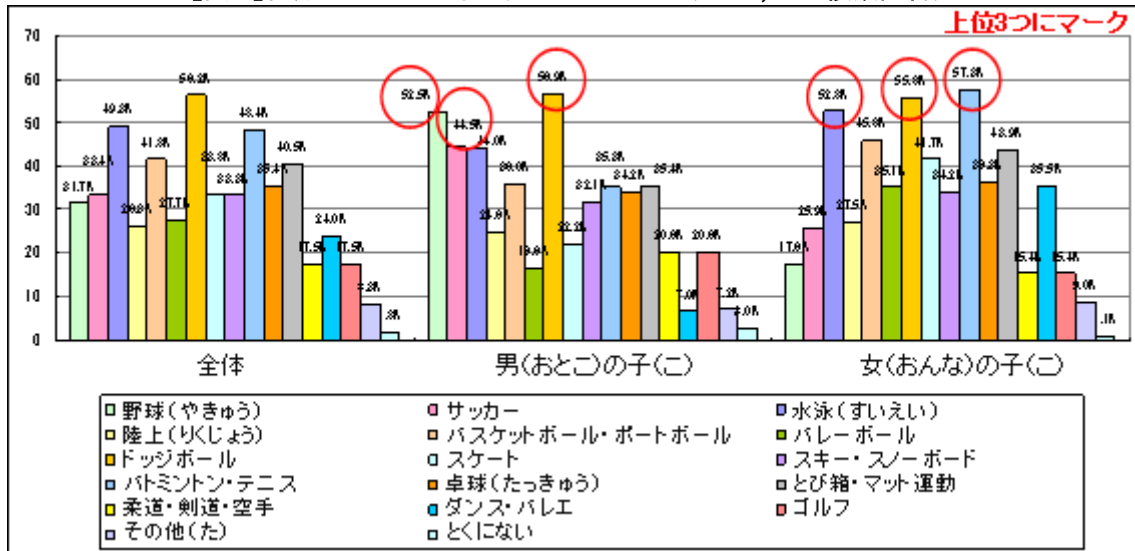


2. 自分でやるスポーツでは、男女ともにドッジボールが人気。

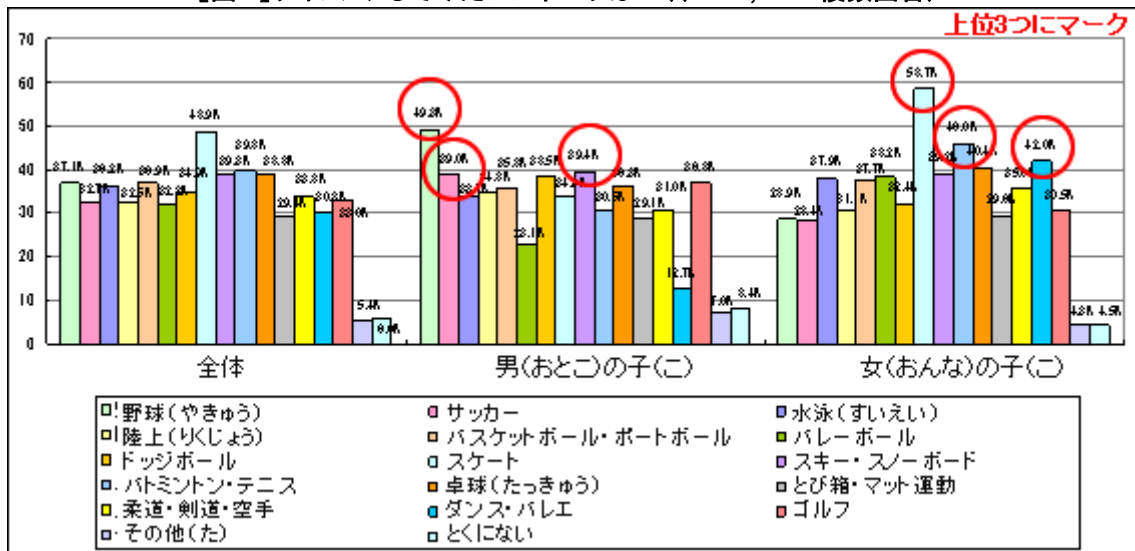
自分でやるのが好きなスポーツは、男子は1位「ドッジボール」(56.9%)、2位「野球」(52.5%)、3位「サッカー」(44.5%)という順位だった。女子は1位「バトミントン・テニス」(57.3%)、2位「ドッジボール」(55.8%)、3位「水泳」(52.8%)という順位で、男女ともにドッジボールの人気が高く上位を占めた。【図2】

また、今後チャレンジしてみたいスポーツでは、男子では「スキー・スノーボード」(39.4%2位)、「ゴルフ」(36.8%、5位)、女子では「卓球」(40.4%、4位)、「スキー・スノーボード」(39.2%、5位)が自分でやるスポーツの順位を上回っている。【図3】

【図2】自分でやるのが好きなスポーツは？ (N=1,425 複数回答)



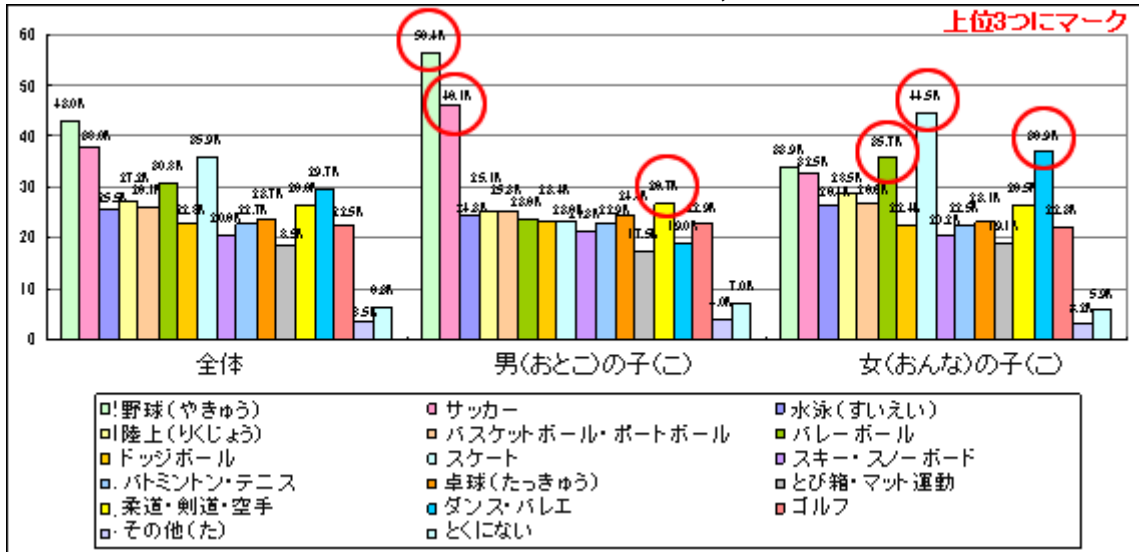
【図3】チャレンジしてみたいスポーツは？ (N=1,460 複数回答)



3. 男子は野球やサッカー観戦、女子はスケートやダンス・バレエ観戦が好き。

観るのが好きなスポーツは、男子は1位「野球」(56.4%)、2位「サッカー」(46.1%)、3位「柔道」(26.7%)という順位で、自分でやるスポーツでは21位だった柔道が3位に入った。また、女子は1位「スケート」(44.5%)、2位「ダンス・バレエ」(36.9%)、3位「バレーボール」(35.7%)という順位で、前述の(2) 自分でやるスポーツでは、男女ともに人気だったドッジボールや、自分でやるスポーツで女子において1位だった「バトミントン・テニス」は11位(22.5%)と低い割合に留まっている。【図4】

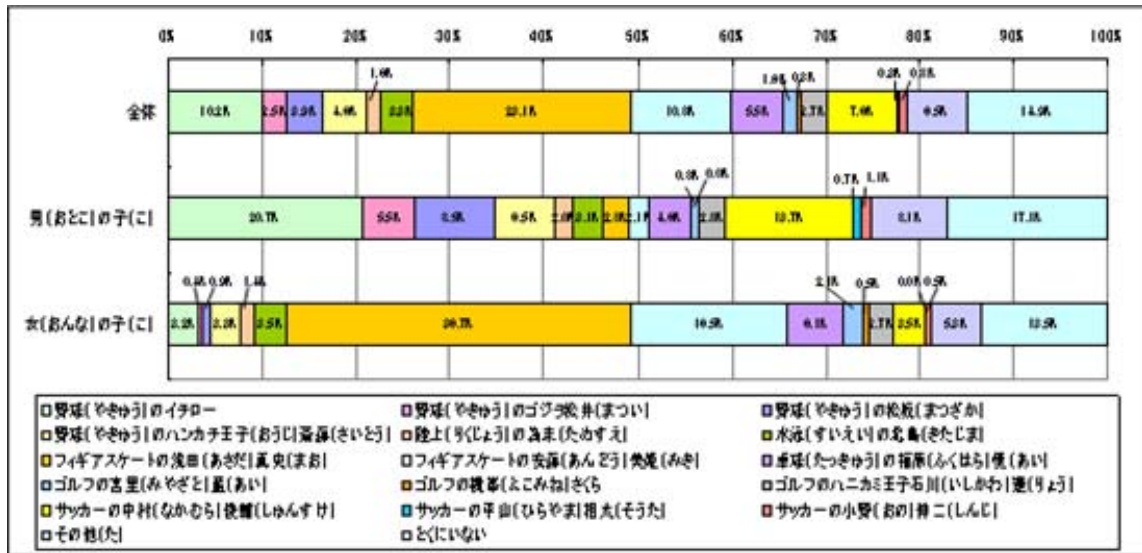
【図4】観るのが好きなスポーツは？（N=1,425 複数回答）



4. 男子の好きなスポーツ選手は「イチロー」、女子の好きなスポーツ選手は「浅田真央」。

男子に人気の高かったスポーツ選手は、1位「イチロー」(20.1%)、2位「中村俊輔」(13.7%)、3位「松坂大輔」(8.5%)であった。一方、女子に人気の高かったのは1位「浅田真央」(36.7%)が以下に差をつけ、2位「安藤美姫」(16.5%)、3位「福原愛」(6.1%)と続いた。男女とも、観戦が好きなスポーツを通じて同性の選手を応援する傾向にあるようだ。【図5】

【図5】好きな日本のスポーツ選手（N=1,535）



5. 約6割の子どもが、体を動かす習い事をしている。男女とも一番人気は「水泳」

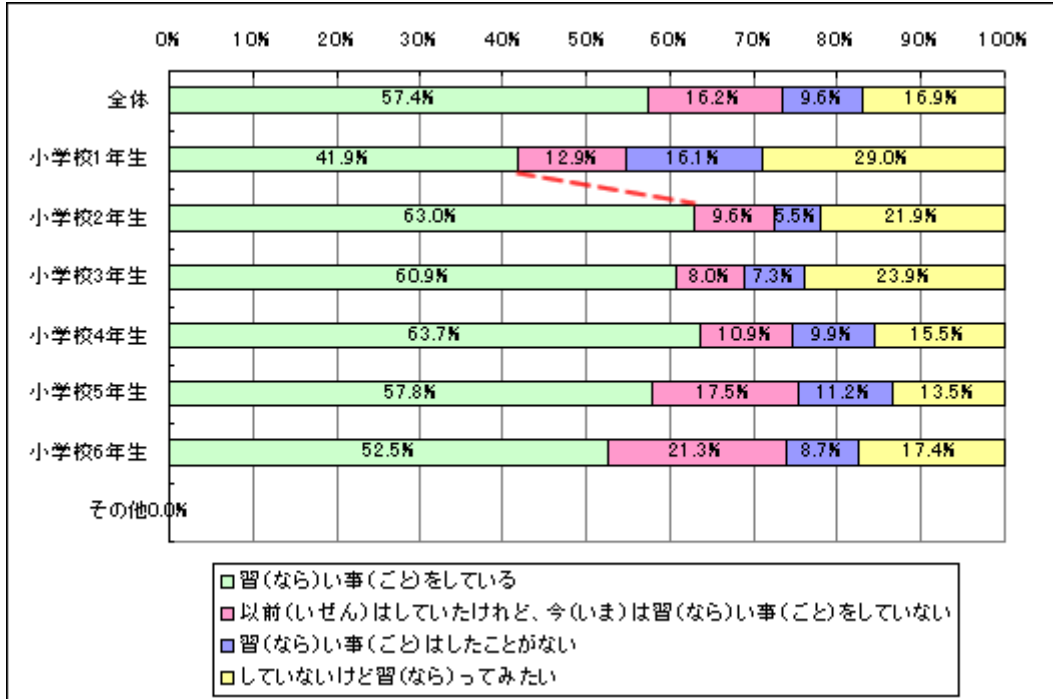
学年別で見ると、体を動かす習い事をしているのは小学校2年生～4年生が多く、5年生から6年生で減少傾向にある。「以前はしていたけれど、今は習い事をしていない」と回答したのは3年生以降、学年を上がるごとに増加しており、高学年ではスポーツ以外の習い事などを優先していると思われる。【図6】

男女別で見ると、体を動かす習い事をしているのは男子が63.5%に対し女子は53.3%と、女子より

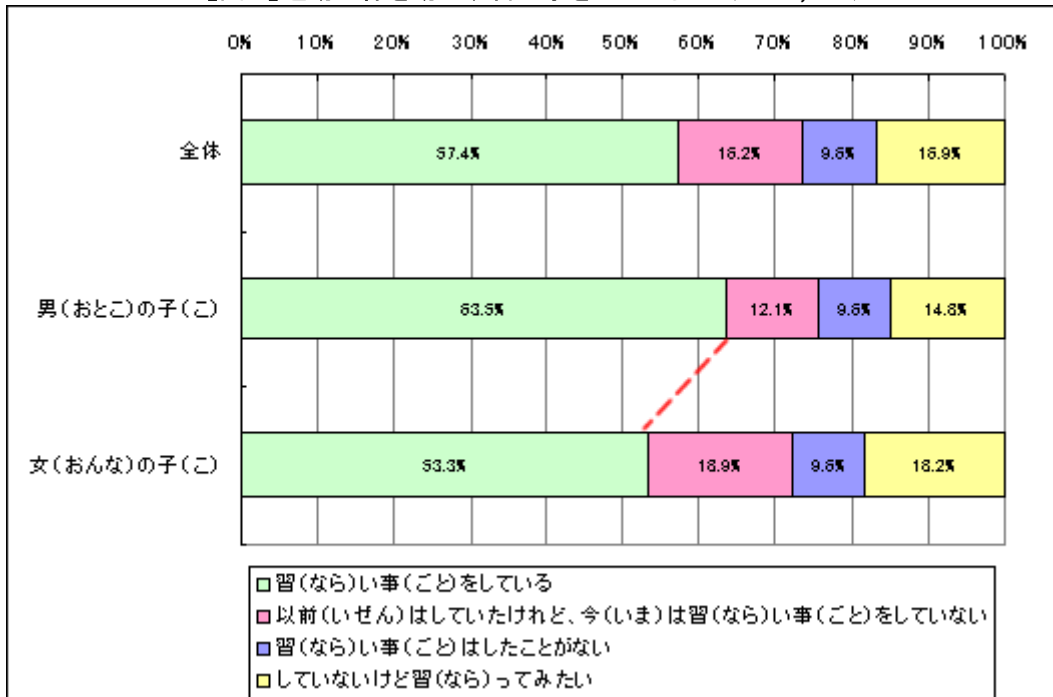
男子の方が体を動かす習い事をしている傾向にある。【図 7】

習い事の内容は、男子は 1 位「水泳」(45.6%)、2 位「野球」(26.4%)、3 位「サッカー」(25.1%)の順。女子は 1 位「水泳」(44.6%)、2 位「ダンス・バレエ」(21.4%)、3 位「バドミントン・テニス」(17.5%)と、男女共に 1 位の「水泳」以外は男女差が明確な結果となった。また、男女共に 1 位の「水泳」は、1 年生では 23%だったのが、2 年生では 65.2%と大幅に増えており、2 年生くらいから習い始める子どもが急増していることがわかる。【図 8】

【図 6】運動や体を動かす習い事をしているか (N=1,535)



【図 7】運動や体を動かす習い事をしているか (N=1,535)



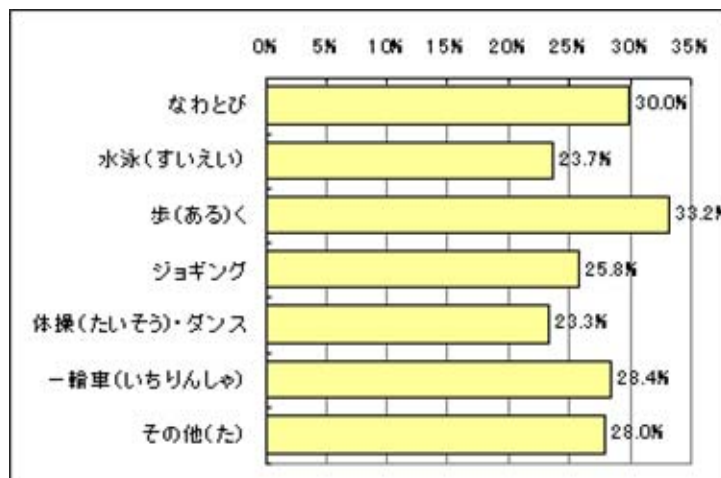
【図 8】習い事の内容 (N=881 複数回答)



6. 約 6 割の子どもが、習い事以外のスポーツを習慣化。一緒にするのは「学校の友達」がトップ、次いで「ひとりでスポーツする」と続く。

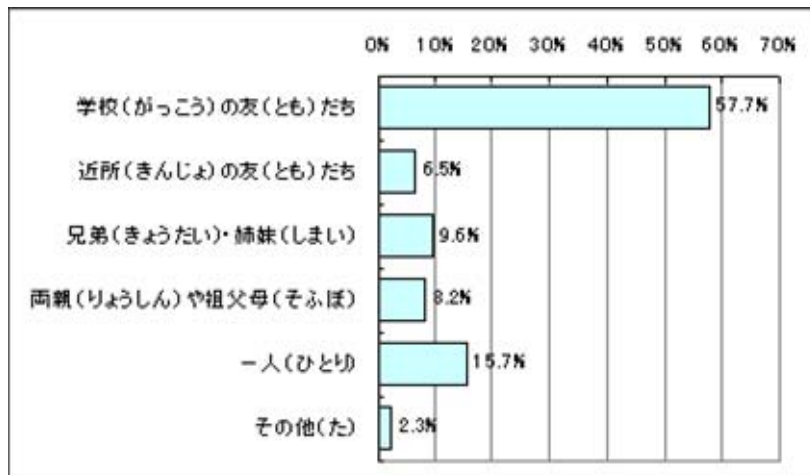
習い事以外で継続的にやっているスポーツ・運動としては、1 位「歩く」(33.2%)、2 位「なわとび」(30.0%)、3 位「一輪車」(28.4%)で、2 位、3 位については、子どもならではの種目となった。【図 9】

【図 9】習い事以外で、普段続けているスポーツ・運動(N=871)



また、誰と一緒にするのかという質問に対しては、「学校の友だち」が約 6 割で 1 位であったが、第 2 位は「一人」(15.7%)となり、核家族化に加え、一人っ子の増加、地域の友だちとの交流の希薄化といった子どもたちを取りまく環境が垣間見える結果となった。【図 10】

【図 10】習い事以外で、一緒にスポーツ・運動する人 (N=1,535)



7. 7割以上が週2~3日以上運動をしている一方で、運動不足の子どもも顕在。

スポーツ・運動をする頻度では男女の差はほとんどなく、7割以上の子どもが週2~3日以上運動をしている。そのうちほとんど毎日運動しているのは33.8%と3割以上に及んだ。その一方で、「月に数回くらいしかやっていない」「ほとんどやっていない」を合計すると16.5%と2割弱で、運動不足の子どもたちが一定程度存在することも明らかとなった。【図 11】

【図 11】スポーツ・運動をする頻度 (N=1,535)

